



スキマタイムズ



もっとお互いを理解するための場や時間を



✿ 日本自立生活センター自立支援事業所 2023年1月26日発行 第142号

今年は楽しいこと たくさんしよう～



2023年が始まりました

コロナやインフルエンザやとか大雪とか、いろいろなこと起こります。
でもその中もなんとか、なんとか

地域生活が続けられるようにとみんなが助け合って思いあっています。
しんどいこともあるのだけれど、楽しい一年にできたらいいなあ～
楽しい新年会ありがとう。

もっともっとみんなで盛り上げていきましょう。

1/12(木) 本体・ワークス・事業所合同ZOOM 新年会



をしました～

企画・司会進行の3人から



皆さんに今回、新年会を楽しんでもらえたので良かったです。宇田



バタバタとしてしまいましたが、皆さんとワイワイ出来て楽しかったです！ 野瀬



初参加の新年会！
働き始めたころはすでにコロナ禍だったので、みなさんとお会いできてうれしかったです(^_^) 河端

オンライン (ZOOM) 2回連続企画

障害のある子どもたちの今とこれから

【暮らし、支援、教育】

参加費無料、詳細は別紙



第1回 2023年2月9日(木) 13:00-16:30

障害のある子どもたちの療育、教育、福祉サービス

第1回 QR コード



ZOOM URL <https://onl.tw/W5SkxwB>

ミーティング ID: 899 7584 6617 パスコード: 230209

第2回 2023年2月28日(火) 13:00-16:30

成人期の暮らし方や支援、福祉サービス

(地域生活、入所施設・病院について)



ZOOM URL <https://onl.tw/8BDmRrB>

第2回 QR コード

ミーティング ID: 864 5078 8455 パスコード: 230228

♪ 各回とも、休憩時間にギター演奏等による憩いの時間をもうけます。

【趣旨】2年前、京都市内の支援学校に通うわが子を母親が手にかけてしまう事件がありました。背景には卒業後の暮らしや支援についての悩みがあったと言われています。自分も同じ立場になったかもしれないと悩む親御さんも数多くおられます。特別支援学校の課題、そして入所施設の不足などもしばしば指摘されます。

一方、国連からは、特別支援学校ではなく地域の普通校での教育(インクルーシブ教育)、入所施設ではなく地域での生活(地域自立生活)へと早急に転換していくことが求められています。支援をたくさん必要とする障害のある子どもが普通校に通う事例、就学後、自立生活をエンジョイする事例なども増えています。

今、障害のある人たちの暮らし、支援、教育は過渡期にあります。

このシンポジウムでは、障害のある子ども(そして成人)の暮らしや支援、教育の現状はどうか、そしてそこにはどのような課題があり、なにが求められるのかについて、当事者、親、支援者、行政それぞれの間で、情報共有や意見交換することをめざします。

【情報保障】要約筆記あり。

手話通訳が必要な方は、事前にお申し込みください(JCIL 事務所にて対面でご用意します)

締切:第1回企画は2月2日(木)まで。第2回企画は2月21日(火)まで。

【連絡先】日本自立生活センター(JCIL)(担当下林、渡邊)

住所:京都市南区東九条松田町28メゾングラス京都十条101

電話:075-671-8484 Fax:075-671-8418

Mail:jcil@cream.plala.or.jp Web:<http://www.jcil.jp/> (←シンポ詳細、随時アップ中)